

「2009年度スピードアップ・マナーアップ要綱」

～ファンに愛される、魅力ある社会人野球をつくるためにスピードアップ・マナーアップを目指そう～

戦略に富んだ日本の野球の良い点を消さずに、現行で“長い”“無駄な時間が多い”と言われている試合時間を短縮し、魅力あるかつ国際基準に適合した社会人野球を実現するには、監督・チームならびに審判員が一体となった協力が不可欠である。

競技力向上委員会/規則・審判委員会

項目	具体的内容	罰則	対応方法	関連規則	
スピードアップ	1) 12・20秒ルールの徹底	走者がいない場合は12秒ルールを適用し、走者がいる場合は従来通り20秒ルールを適用する。ただしいずれの場合も投手がボールを受けてからカウントする。(内規改訂) ①打者は理由なくして打席を外すことはできない。 (軸足を動かさない指導の徹底) ②捕手は速やかに投手へ返球し、サインの交換も迅速に行う。 ③次打者は速やかに打席に入る。 *12・20秒ルールは、捕手・打者の行動が影響するのでお互いにスピードアップの精神を尊重すること。	・走者がいない場合、球審はボールを宣告する。 ・走者がいる場合、現行通り球審が警告を発する。同じ投手が2度までの警告には罰則はないが、3度目は球審の裁量で1ボールを宣告する。(走者に進塁権は無い)しかし、審判員が遅延行為と判断すれば、規則に則りホークを宣告する。 打者が理由無く、打席に入ろうとしないか、打撃姿勢をとろうとしなかった場合、球審はただちにストライクを宣告する。	・投手に対して、早く投手板を踏むよう、及び早く投球姿勢を取るよう審判員が積極的に促す。 ・打者に対して、早く打席に入るよう、又早く打撃姿勢をとるよう積極的に促すとともに、むやみに打席を外さないよう注意する。 ・控審判が計測する ・「塁に牽制球を送球したとき」及び「走者一・三塁のケースで、三塁への偽投のみで一塁へ送球しなかったとき」はリセットする。	・規則 8.04 ・規則 6.02 (打者の義務) ・社会人野球内規18
	2) 30秒ルールの徹底	球審がタイムをかけてから30秒以内に打合せを終了する。(内規追加) タイムをかけた際には、監督またはコーチは小走りで集散する習慣をつける。	30秒を超えた場合は審判員が強い態度でプレーを促す。但し、球審の裁量で猶予を与えることがある。1度目は球審が警告し、2度目に30秒を超えると3度目のタイム権利(監督がフリートリップでマウンドに行く権利)は消滅する。	同上。 2度目に30秒を超えた場合は球審より3度目の権利消滅をチームに宣告をする。	・日本野球連盟(社会人野球)内規14④ ・スピードアップに関する監督申し合わせ事項(監督の行動)
	3) 内野手	内野手(捕手を除く)は1イニングに1回一人だけ投手のところに行くことが許される。			・日本野球連盟(社会人野球)内規14③
	4) 攻撃タイム	攻撃側は9イニングに3回の作戦タイムをとることができる。			・日本野球連盟(社会人野球)内規15
	5) 投手交代	投手交代時、監督はマウンドに行く前(ファールラインを横切る前)に球審に投手交代を告げる。あるいはコーチがマウンドに行った時は、監督が同時に球審に投手交代を告げるものとする。	罰則は無いが、監督がタイムをかけ、投手交代を告げずにマウンドに行き、その後投手を交代した場合は、タイム1回とみなす。		・社会人野球申し合わせ事項12
	6) 準備投球	投手交代時およびイニング間の投球練習を5球以内とする。	投球練習が長引く場合(目安として1分を超えた場合)球審の判断で投球数を制限することがある。		・規則8.03 ・社会人野球申し合わせ事項13
	7) 攻守交替	ゲーム中の全ての行動を迅速に行う。(歩かない、小走りで) ベースコーチも歩かずに小走りで移動する。	7.8.9項についての罰則はないが、審判員が選手及び監督に厳重注意する。		
	8) サインの伝達	打者が打席を離れてサインを見ることを禁止する。 (少なくとも軸足は打席内においてサインを見ること。)			
	9) 防具の着脱	走者はフットガード、アームガード着脱を速やかに行う。			
	10) その他	ファールグラウンドでの遠投練習を禁止する。			
マナーアップ	1) ミットの移動の禁止	捕手が投球を受けたときボールの球をストライクに見せる意図でミットを動かす行為を禁止する。			
	2) サイン盗み行為の厳禁	走者から打者へのサインの伝達禁止。紛らわしい動作をしない。	審判員(控審判員含む)が疑わしき行為と認められた場合、当該監督に厳重注意し、違反と認められた場合は監督の退場もあり得る。	控審判員がそのような行為があるか否か監視する。又は相手チームの抗議があり、その後に違反行為とみなされるか否か大会本部委員も監視する。	・社会人野球申し合わせ事項14
	3) 汚い野次の禁止	相手チーム・審判員への中傷的な野次の禁止。	当該監督に厳重注意し、その後野次が続いた場合は退場もあり得る。	同上。	・社会人野球申し合わせ事項3
	4) ユニフォーム着用時の喫煙についての注意事項	ダックアウト裏の所定の場所にて喫煙する。 スタンド、球場でのファンの前での喫煙を禁止する。	罰則は無いが、判明した場合は連盟より警告状をチーム野球部長へ送付する。		
	5) バットの素振りの禁止	初回または投手交代時に全員がベンチ前に出て投手のモーションに合わせバットの素振りをすることを禁止する。			
	6) サインの伝達	走者・打者間の手を上げるなどのタイミング合わせ、監督の長いサインを禁止する。			
	7) ユニフォームのズボン	すそ巾の広いストレートタイプのズボンの着用を禁止する。(通達事項)			
	8) 首輪(リング)の禁止	首輪(リング)については、ユニフォームの外から見えないように身に着けるべきものとし露見するものは禁止する。(通達事項)			
	9) 出迎え禁止	本塁打・投手交代・攻守交替などベンチから出での迎え入れを禁止する。			
審判員	1) 権威を持って厳正にジャッジする	ゲームの進行役としての意識付けを行う。 ①審判の役割として、スピーディかつエキサイティングに進行するように積極的に監督・選手に働きかける。 ②警告・罰則に関しては適正かつ厳正に行使する。			
	2) ストライクゾーンについて	ルール通りのストライクゾーンの徹底を図る。			・規則2.74